

平成23年度 学校経営の改革方針 津市立櫛形小学校

学校教育目標

「豊かな心を持ち、進んで創造する子」

めざす学校像

基礎的・基本的な学力を身につける子どもを育てる学校。 (学力向上)
なかまづくりをすすめ、子どもたちが生き生きと活動する学校。 (人権尊重)
子どもたちが安心して学べる、安全な学校。 (安心安全)
心豊かで気持ちのよい、元気な子どもを育てる学校。 (生活習慣)
教職員の資質の向上に努め、わかる授業、楽しい学習活動を進める学校。 (資質向上)
学校と地域が連携・協力する学校。 (地域連携)

めざす子ども像

基礎学力を身につけ、自ら学び、仲間とともに高めあう子。
豊かな心や思いやる気持ちを持ち、互いに認め合う子。
心身ともに明るく、たくましい子。
自他の命や人権を大切にする子。

現状と課題

(現状)

本校は、校区内の団地の住人の高齢化とともに児童数が減少し、児童の通学地域も偏りができています。同時に児童の人間関係も保護者の人間関係が希薄な部分とそうでない部分とが微妙に影響してきています。また、児童養護施設の児童数の増加と児童の転出入や一人親家庭の増加などにより、精神的な支えが必要となってきました。

少人数であるがゆえに、指導者が児童一人ひとりに対する指導が行き届き、児童は何事に対しても真面目に取り組むことができます。そのため基礎学力については、少しずつ向上の兆しがみられます。

(課題)

幼稚園から小学校とクラス替えもなく少人数で生活していく中で子どもたちが互いに切磋琢磨していく力や良い人間関係を構築していく力に乏しいように感じられます。また、与えられた課題に対しては、まじめに取り組もうとしているが、自分に自信を持って友だちと関わったり、粘り強く学習に臨んだりといった姿勢が必要であります。そのためには、基礎学力を身につけ、自尊感情を育て自己有用感を高めて互いの人権が尊重される仲間づくりをしていくことが大切であると考えます。

教職員は協調性や協働意識を持って日々の授業に取り組んでいますが、より一層子どもたちが学習内容の確実な習得や意欲的に学習に取り組むめるように授業や日々の課題の工夫が望まれます。そして、日々の教材研究教材づくり等への時間確保ができるように、効率的な学校運営と全職員の学校運営への積極的な参加が大切となります。そのためには、学校経営品質の手法を取り入れながら、改善を図っていく必要があります。

本校は児童数が減少し、登下校時の安全が問題となり、地域と家庭と学校の三者が一体となって子どもの安全を守る必要が出てきました。そのためには、より一層、学校の様子や経営方針等を保護者や地域の方々に知っていただき、開かれた信頼される学校づくりが必要であると考えます。

中長期的な重点目標

- 1 基礎的・基本的な学力を身につける児童を育みます。
- 2 仲間づくりを進め、生き生きと活動する児童を育みます。
- 3 子どもたちが安心して学べる、安全な学校づくりを進めます。
- 4 心豊かで気持ちのよい、元気な子どもを育てる学校づくりを進めます。
- 5 教職員の資質向上を図り、わかる授業、楽しい学習活動を推進します。
- 6 学校と地域が連携・協力し、信頼される学校づくりに努めます。

具体的な取り組み(行動計画)

- 1 基礎的・基本的な学力を身につける児童を育みます。
教科指導や TT 指導等を通して、様々な指導方法を工夫し、より一層基礎学力の定着に取り組みます。(ノート指導、教材教具の開発、課題づくり、発問の工夫等)
国語・算数の学力検査を行い、その結果を分析し、指導に役立てます。
楕形タイム(朝の学習)を活用し、計算の繰り返し学習や読書活動に取り組みます。(計算の日と読書の日を設定)
教職員相互の授業を公開し、また講師を招聘して研修し、指導法の改善・工夫に取り組みます。
本に触れさせる機会や読み聞かせを多くし、本に親しみをもつ子どもたちを目指します。(教員やボランティアによる読み聞かせ・図書室の使い方・本の紹介等)
特別支援の必要な児童の個別指導計画を作成し、それに基づき個に応じた指導を行います。
特別支援教育の校内委員会をコーディネーターと共に3回以上開催します。子どもの情報交換、指導・対応の共通理解を図ります。
- 2 仲間づくりを進め、生き生きと活動する児童を育みます。
どの子どもも大切にされる仲間づくりを学校行事を含めたあらゆる教育活動のなかで取り組みます。
人権に関する授業参観をしたり、出会い学習、人権講演会・学級懇談会・PTA 人権講座等の機会を通して保護者や地域の方々とともに人権教育を進めます。
「心のノート」等の有効活用や体験活動等を通して、道徳の授業の充実に向けて取り組みます。(子どもたちの心情に響く活動・学習内容)
関係諸機関(マッテヤ・市民館・あすなる学園・児童相談所等)と連携を密にし、相互に協力して子どもの指導にあたります。
児童養護施設の毎月実施されるケース会議に積極的に参加し、指導に活かします。
中学校区子どもフォーラムに積極的に参加します。
職員会議等で子どもの状況を全職員で把握し、情報を共有する場を設定していきます。
幼稚園と小学校(低学年)で一緒に活動する機会を持ち、幼小の連携を進めます。
楕形・長谷山両市民館の行事に積極的に参加します。
- 3 子どもたちが安心して学べる、安全な学校作りを進めます。
学期ごとに、避難訓練を実施し、自分の命は自分で守る意識を高めます。
食の安全・食の重要性等を発達段階に応じた指導を通して取り組みます。
(栄養教員による授業や生活に密着した題材を取り上げながら)
体育の授業や体育的行事を通して、運動量や運動の質を高める工夫をします。
学校施設設備の安全点検を隔月で実施し、児童の安全に努めます。
登校・下校時のパトロールや定期的登校指導を通して、児童の安全確保に努め

ます。

「子ども見守り隊」の組織を整理し、見守り隊と連携し子どもの登下校時の安全を確保します。

防災マップを見直し(追加・訂正)、認識を高めます。

学校危機管理マニュアルの見直しを行います。

学校保健委員会を組織し、年間2回の研修会を持ちます。

4 心豊かで気持ちのよい・元気な子どもを育てていく学校づくりを進めます。

あいさつ運動を行い、気持ちのよいあいさつができる子どもを育てていきます。

(児童会・委員会と連携して)

地域の方との触れ合う機会を多くし、周りの人を思いやる気持ちや感謝する気持ちを育てていきます。

時・場所・目的に応じた挨拶ができるようにします。

(道徳の時間・地域の人とふれあいを通して)

休み時間には外で元気に遊ぶ子どもたちを育てていきます。

清掃時間に職員も児童と一緒に掃除に取り組みます。

「早寝、早起き、朝ごはん」を実践させ、基本的な生活習慣を身につけた子どもを育てていきます。

5 教職員の資質向上を図り、わかる授業、楽しい学習活動を推進します。

校内研修や学年(高・低)部研修を充実し、算数の「思考力」に視点を置いて研修を進め、楽しい授業、わかる授業をめざします。

地域の歴史を調べたり、地域の人から文化を学び、地域の方とふれあう機会を増やしていきます。

職員相互に授業を公開したり、先進校の研究会等に積極的に参加し、研修内容を還流することにより、教職員の指導力や資質の向上に努めます。

6 学校と地域が連携・協力し、信頼される学校づくりに努めます。

学校だよりを地域や保護者に配布し、学校ホームページにも掲載し、広く情報を発信します。

学級だよりを定期的に発行します。

学校ホームページを少なくとも学期に1回は更新していきます。

地域の会合や行事に出向き、学校・児童の様子について話しをする機会を持っていきます。

学校関係者評価委員会(学校評議員を含む)を組織し、年2回会議を持ちます。

学校評議員や学校関係者評価委員会からの意見や提言を生かした見直しや改善を進めます。

学校自己評価について、学校ホームページ等に掲載し、公表します。

学校行事に地域の方がたくさん来ていただけるよう取り組み、地区の行事にはできるだけ参加し、地域との信頼関係を深めていきます。